

第170回 学長定例記者会見

日時：令和6年8月27日（火）11：00～11：30

場所：メイン会場：広島大学東広島キャンパス 法人本部棟5階 5F2会議室

サブ会場：広島大学霞キャンパス 臨床管理棟3階大会議室

※サブ会場は、テレビ会議システムによるオンライン参加

※ 会見終了後、YouTubeによる録画配信を実施

【発表事項】

1. 文部科学省の「高度医療人材養成拠点形成事業」に採択されました
2. 【広島大学創立75+75周年記念事業】「広島大学 in 東京」を開催します
(9/21-9/22開催)
3. 広島大学デジタルものづくりイノベーション拠点竣工記念式典を開催
します(9/18開催)

【お知らせ事項】

1. 「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（通称J-PEAKS）」の取組
に関する報告
2. 【広島大学創立75+75周年記念事業】
公開シンポジウム 地域の挑戦「新しい価値創造と社会課題解決」を
開催します(9/20開催)
3. 【広島大学創立75+75周年記念事業】
「三分一博志講演会 & 三分一博志と巡るおりづるタワー」の開催に
ついて(8/31開催)

■次回の学長定例記者会見（予定）

日時：令和6年9月26日（木）

場所：広島大学 霞キャンパス

令和 6 年 8 月 27 日

文部科学省の「高度医療人材養成拠点形成事業」
に採択されました

2024 年 8 月 26 日、文部科学省の「高度医療人材養成拠点形成事業－タイプ A」に、広島大学の「平和科学を基盤とする臨床基礎融合を目指した人材養成イニシアティブ～SPARK Plan for MED～」の提案が採択されました。

同事業には、補助額によりタイプ A(8000 万円)とタイプ B(4000 万円)があり、両タイプに全国の大学から 65 件の応募がありました。タイプ A は 13 件の応募があり、10 件が採択されましたが、中・四国地域で唯一、広島大学が選ばれました。

本学の事業(タイプ A)は、2024 年(令 6)から 2030 年(令 11)までの 6 年間、毎年 8000 万円が補助されます。審査では、評価委員 4 人の評価平均点が 49 点以上の事業を対象とした中、本学の評価は 63.6 点の高評価をいただきました。独創性のある研究を高い水準で継続しようとする姿勢や、多様な教育プログラムの構築計画などが評価されました。

同事業は、医師の働き方改革を進めながら、医学生や医学系大学院生が、大学病院において臨床の実習や研究に参画できる仕組みを整え、教育研究支援者の活用により研究体制を強化して、臨床教育・研究の分野の知識や技能に優れた医師を養成し、日本の医学・医療の発展や研究力強化につなげていくのが目的です。

本学の提案は、創薬から治験(臨床試験)までを一貫して教育するトランスレーショナル教育研究センター(translational education research center。以下「TraERC」)を司令塔として、主に①高度な臨床・研究能力を持つ医師を養成する支援プログラム(SPARK! Plan for MED) ②国内大学唯一のワクチン等医薬品製造拠点 GMP(適正製造規範)設備による GMP 教育研究プログラム ③霞キャンパスに移転する放射線影響研究所と連携した共同臨床研究拠点、の構築ーを目指します。

具体的な取り組みとしては、本学のキャリア支援の医学版である SPARK! Plan for MED を通じ、医学部生、大学院生等の研究支援者、及び若手研究者の育成や人材確保することで、教員の研究時間を保持し、医師の働き方改革に繋がります。また、放射線影響研究所とのバイオバンクの共有化や、ゲノム編集技術の活用などによる GMP 施設の利用推進などを通じて、地球規模の臨床研究推進の国際共同臨床研究拠点を構築し、革新的な高度先進医療の実現を目指します。

文部科学省ホームページ

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/iryuu/1387768_00008.htm

【お問い合わせ先】

病院総務グループリーダー 小左古（こさこ）
TEL:082-257-5004



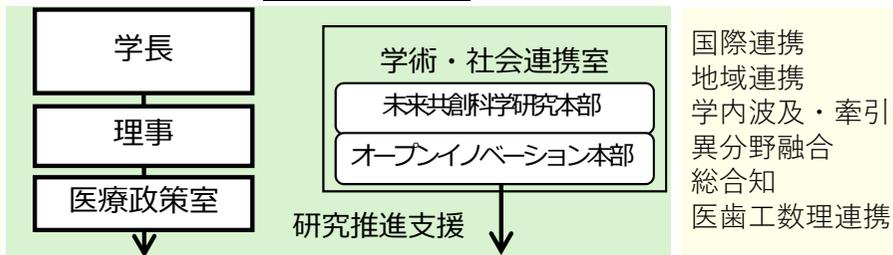
事業名：平和科学を基盤とする臨床基礎融合を目指した人材養成イニシアティブ ~SPARK! Plan for MED~

代表校：広島大学

本事業で目指す姿

広島大学は新しい平和科学を創生。放射線医学、再生医療、がん等の診療分野とワクチン・医薬品開発において人材育成を強化し、中国・四国地方におけるトップレベルの研究実績を基盤とした基礎と臨床の連携により臨床研究を地球規模でけん引。トランスレーショナル教育研究センターが司令塔となり、医師の働き方改革の中でも、支援者活用による教育研究時間を確保する施策と体制を整備し、人材育成と国際的な教育研究拠点として医学・高度医療の持続的な発展と研究力の強化に貢献。

広島大学 事業運営体制



本学独自の人材養成支援プログラム (SPARK! Plan for MED)

- S**mile: 学生を、アカデミアを、広島大学が「笑顔にする」
- P**ave: 大学院生・研究者への道を「整備する」
- A**dvice: 大学院・研究者を志す者へ「アドバイスする」
- R**ally: 広島大学の支援・制度・アイデアを「結集する」
- K**indle: 研究に対する興味と情熱を「かき立てる」

Plan for MED

中国・四国地方の大学で 医学系Top10%論文数 1位



【司令塔】トランスレーショナル教育研究センター (TraERC)

- 卒前卒後のシームレスな医学教育・研修の提供
- 入学から一貫した医系キャリア支援
- グローバルで魅力的な診療参加型臨床実習プログラム
- 基礎から臨床医学への連携



養成する医師の人材像

- 臨床研究マインドが高くかつ高度医療技能を有する医師
- GMP教育研究プログラムによるELSIを始めとするコンプライアンス意識の高い医師
- 本学が提唱する安全、安心を創る新しい平和科学を深く理解し、高度な臨床・研究能力を有し、地球レベルでリードできる医師



「高度医療の持続的な発展に貢献」

- 医師の働き方改革の実現と教育研究時間の確保を両立
- バックキャスト視点にたった質の高い教育プログラムの構築、更に研究力向上を同時並行に達成



※全国から研究マインドの高い学生が集結 (46名実績)

アウトプット

- ◆ 診療参加型臨床実習の充実
 - 海外での臨床実習に参加し、単位を習得した学生の数 R6年17名→最終年度25名
- ◆ 研究環境の充実 (教育的配慮の下教員の研究活動に参加する学生の増加等)
 - MD-PhD入試枠での医学生 (5名定員枠) 6年後の目標 平均4.5名
 - 「基礎研究入門コース」 選択人数 6年後の目標 10名/年
 - 「アドバンスト研究コース」 選択人数 6年後の目標 3名/年 (新設)

アウトカム

- ◆ 門田レポートで医学生が実施すべきとされている医行為の経験率の上昇
 - 全ての医学生が経験するもの R4: 6/50項目→R11: 49/50項目 (処方を除く)
- ◆ 臨床研究論文数の維持・増加 6年後の目標70本/直近3年 (現時点実績 50本/3年)
- ◆ 医学系大学院生の維持・増加
 - MD-PhDコース大学院入学者数 6年後の目標 4.5名/年
 - MD-PhDコースに編入する一般枠医学生数 6年後の目標値 2名/年

社会的インパクト (達成目標)

令和 6 年 8 月 27 日

広島大学創立 75+75 周年記念事業
「広島大学 in 東京 2024」を開催します

広島大学は今年、1949 年の開学から 75 年、また前史の 75 年を加えて 150 周年となる節目の年を迎えました。

この度、周年記念事業の一環として、首都圏在住の本学同窓生をはじめ、広く一般の方々、高校生らも対象に、「広島大学 in 東京 2024」を、開催いたします。

当日は、広島大学を実感していただける多くのイベントに加え、学外ゲストによる記念講演を次のとおり予定しております。

皆様のご参加をお待ちしております。

【日 時】 2024 年 9 月 21 日(土) 14:00~18:30
9 月 22 日(日) 9:30~12:30

【場 所】 一橋講堂
(東京都千代田一ツ橋 2-1-2 学術総合センター 2 階)

(プログラム) ※詳細は別添チラシのとおり。

▶ 2024/9/21(土)

広島大学の紹介

越智 光夫(広島大学長)

記念講演

福岡 伸一 氏(生物学者/作家)

LOOK 広島大学

片山 春菜(広島大学大学院先進理工系科学研究科 助教)

堀内 浩幸(広島大学大学院統合生命科学研究科 教授)

情報交流会 17:00(予定)~

会費: 5,000 円(当日会場にてお支払い)

▶ 2024/9/22(日)

記念講演

柳沢 正史 氏(睡眠学者)

LOOK 広島大学

澤井 努(広島大学大学院人間社会科学研究科 特定教授)

楯 真一(広島大学大学院統合生命科学研究科 教授)

ピース・レクチャー・マラソン

ティムラス・レジャバ 氏(駐日ジョージア特命全権大使)

(その他イベント)

- ▶ 広島大学を感じるパネル展
(各学部・研究科紹介、広島大学歴史写真展、最先端研究等)
- ▶ フォトスポット 広大マスコット「ひろティー」も登場!
- ▶ 入試個別相談ブース! (受験生・保護者向け)
9月21日(土) 13:00~17:00
9月22日(日) 9:00~12:00

◆プログラムの詳細・お申込み(参加無料(情報交流会のみ会費制))

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/news/82895>



【お問い合わせ先】

広島大学創立75周年記念事業推進事務室
TEL:082-424-5693

2024



広島大学創立 75+75 周年記念事業

広島大学 in 東京2024

漕ぎ出せ混沌の海に走れ創造の彼方へ
100年後にも世界で光り輝く大学へ

2024

9/21(土)
14:00-18:30

9/22(日)
9:30-12:30

会場 一橋講堂

東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター2階



同時開催

- ▶ 広島大学を感じるパネル展
(各学部・研究科紹介、広島大学歴史写真展、最先端研究等)
- ▶ フォトスポット 広大マスコット「ひろティー」も登場！
- ▶ 入試個別相談ブース！(受験生・保護者向け)

◎ 21日(土) 13:00-17:00 ◎ 22日(日) 9:00-12:00

2024年は広島大学創立75周年、その創立前史の75年を加え、150年の節目となります。

本学が育んできた伝統と新たな未来を実感していただける記念事業「広島大学 in 東京2024」を広く一般の方々にも参加いただける形で開催いたします。

当日は、学長による「広島大学の紹介」に始まり、学外ゲスト講師による記念講演、LOOK広島大学(本学教員による講演)、入試個別相談ブース、広島大学パネル展等、広島大学を感じていただける多くのイベントを予定しております。皆様の参加をお待ちしております。

事前登録制

参加無料

▶ お申込み

下記ウェブサイトよりお申込みください。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/news/82895>

お電話でもお申込みいただけます。(TEL:082-424-5693)



広島大学

お問い合わせ

広島大学創立 75 周年記念事業推進事務室

E-Mail: hu75years@office.hiroshima-u.ac.jp

創立 75+75 周年
特設サイト▶



広島大学 in 東京2024

漕ぎ出せ混沌の海に走れ創造の彼方へ
100年後にも世界で光り輝く大学へ

プログラム

司会進行：フリーアナウンサー 河村 綾奈（広島大学法学部卒業）



2024年9月21日（土）

- 14:00 ▶ **オープニング**
主催者挨拶：越智 光夫（広島大学長）
来賓挨拶
- 14:15 ▶ **広島大学の紹介**
越智 光夫（広島大学長）
- 14:40 ▶ **記念講演**
「生命を捉えなおす～動的平衡の視点から～」
福岡 伸一氏（生物学者／作家）
- 15:30 ▶ 休憩
- 15:50 ▶ **LOOK 広島大学**
「電気回路の中の宇宙」
片山 春菜（広島大学大学院先進理工系科学研究科 助教）
「ゲノム編集と食の未来を考える」
堀内 浩幸（広島大学大学院統合生命科学研究科 教授）
- 16:35 ▶ **クロージング**
主催者挨拶：田中 純子（広島大学理事・副学長）
- 17:00 ▶ **情報交流会**
登壇者・来場者による交流会（会費制：5000円）
- 18:30 ▶ **終了**



2024年9月22日（日）

- 9:30 ▶ **オープニング**
主催者挨拶：越智 光夫（広島大学長）
- 9:35 ▶ **記念講演**
「睡眠の謎に挑む～基礎研究から睡眠ウェルネスへ～」
柳沢 正史氏（睡眠学者）
- 10:30 ▶ 休憩
- 10:40 ▶ **LOOK 広島大学**
「近・遠未来を見据え、より良い社会を共に創る」
澤井 努（広島大学大学院人間社会科学研究所 特定教授）
「広島大学キラルノット超物質拠点（WPI-SKCM2）が拓く新しい科学」
楯 真一（広島大学大学院統合生命科学研究科 教授）
- 11:25 ▶ 休憩
- 11:40 ▶ **ピース・レクチャー・マラソン**
「大使が語るジョージア」
ティムラズ・レジャバ氏（駐日ジョージア特命全権大使）
- 12:30 ▶ **クロージング**
主催者挨拶：津賀 一弘（広島大学理事・副学長）

略 歴



福岡 伸一 Shin-ichi Fukuoka
▶ 生物学者・作家

京都大学卒業。米国ハーバード大学医学部博士研究員、京都大学助教授などを経て、現在、青山学院大学教授・米国ロックフェラー大学客員教授。サントリー学芸賞を受賞し、88万部を超えるベストセラーとなった『生物と無生物のあいだ』、『動的平衡』など、「生命とは何か」を動的平衡論から問い直した著作を数多く発表。



柳沢 正史 Masashi Yanagisawa
▶ 睡眠学者

筑波大学大学院医学研究科博士課程修了（医学博士）。1991年に渡米し、テキサス大学サウスウェスタン医学センターとハワードヒューズ医学研究所にて、2014年まで研究室を主宰。2012年より筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構（WPI-IIIS）機構長・教授。文化功労者、ブレイクスルー賞、クラリバイト引用栄誉賞など数多く受賞。



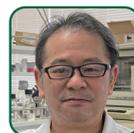
ティムラズレジャバ Teimuraz Lezhava
▶ 駐日ジョージア特命全権大使

ジョージア・トビリシで生まれる。生物学者の父に連れられ、4歳の頃より東広島市で過ごす。2011年、早稲田大学国際教養学部を卒業。大学卒業までジョージア、日本、アメリカ、カナダで教育を受け、日本の企業、キッコーマン株式会社に就職。2018年、ジョージア外務省に入省。臨時代理大使を経て、2021年より現職。



片山 春菜 Haruna Katayama
▶ 広島大学大学院先進理工系科学研究科 助教

広島大学総合科学部卒業、同大学院先進理工系科学研究科博士課程修了。博士（学術）。2022年より現職。専門は量子論。「電気回路ブラックホールから放出される特異な量子相関を持ったホーキング輻射の研究」によって、科学誌 Asian Scientist Magazine の2023年度版「アジアの科学者100人」に選出。



堀内 浩幸 Hiroyuki Horiuchi
▶ 広島大学大学院統合生命科学研究科 教授

広島大学生物生産学部卒業、同大学院生物圏科学研究科博士課程修了。博士（学術）。同大生物生産学部助手、大学院生物圏科学研究科助教、准教授、教授を経て現職。ニワトリ幹細胞の基礎研究とゲノム編集技術を融合させたさまざまな研究を展開し、アレルギー低減卵を開発。



澤井 努 Tsutomu Sawai
▶ 広島大学大学院人間社会科学研究所 特定教授

京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程修了。博士（人間・環境学）。同大学IPS細胞研究所特定助教、広島大学大学院人間社会科学研究所准教授などを経て、2024年より現職。科学・医学・工学の最先端分野で生じる倫理的・法的・社会的課題（ELSI）を国際的・学際的に研究。



楯 真一 Shinichi Tate
▶ 広島大学大学院統合生命科学研究科 教授

東京大学大学院薬学系研究科単位取得後退学。博士（薬学）。東京都立大学助教、北陸先端科学技術大学院大学助教、生物分子工学研究所研究部長、広島大学理学研究科教授などを経て、2019年から現職。専門はNMR分光・構造生物学・生物物理学。



令和 6 年 8 月 27 日

広島大学デジタルものづくりイノベーション拠点
竣工記念式典を開催します

本学では、令和 4 年度第 2 次補正予算「地域の中核大学等のインキュベーション・産学融合拠点の整備」（大学等向け）による経済産業省の補助を受けたほか、多くの企業様からの寄附金により、「広島大学デジタルものづくりイノベーション拠点」を建設しました。

本施設は、広島中央サイエンスパークの中に位置し、インキュベーション機能・企業との共同実験機能・オープンイノベーション推進機能を併せ持つ複合施設として、広島大学の産学連携推進のために活用していきます。

つきましては、竣工記念式典を下記のとおり開催いたしますので、ご案内いたします。

記

日 時 令和 6 年 9 月 18 日（水） 14:00 ～ 15:00
（式典 30 分程度 施設見学 30 分程度）
※ 13:00～13:45 プレス向け事前見学受付・随時見学
場 所 広島大学デジタルものづくりイノベーション拠点
（東広島市鏡山 3 丁目 10 番 31 号）

内 容

○主催者あいさつ、来賓ご紹介

（主催）広島大学学長

（来賓）経済産業省イノベーション・環境局 大学連携推進室長

経済産業省 中国経済産業局長

内閣府地方創生推進室 参事官

広島県知事（代理者が出席の予定）

東広島市長

マツダ会長

○テープカット、記念撮影

○一般参加者施設見学（約 50 人）

（出席者は都合により変更となる場合があります）

【お問い合わせ先】

デジタルものづくり教育研究センター 羽田・岩崎

Tel: 082-430-8513

E-mail: dejital-jimu@office.hiroshima-u.ac.jp

2024



150th
ANNIVERSARY

【建物概要】

建物名称：デジタルものづくりイノベーション拠点

所在地：東広島市鏡山三丁目 10-31（広島中央サイエンスパーク）

建物構造：鉄骨造 2 階建て

建築面積：1872.05 m²

延床面積：2031.90 m²

【会場案内図】



《建物外観》



《アクセス方法》

■お車でお越しの場合

高速道路から

山陽自動車道・西条ＩＣ出口より、国道３７５号線を呉方面へ南下

広島方面から

①国道２号線（西条バイパス）を東広島・三原方面へ

②道照交差点を右折、国道３７５号線を呉方面へ南下

呉方面から

国道３７５号線を東広島・三次方面へ北上

■ＪＲ西条駅（在来線）よりお越しの場合

７番のりば　ＪＲバス（黒瀬・国際大学・広・呉方面行き）にて、「水源地前」バス停より徒歩７分

令和 6 年 8 月 27 日

「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業
(通称 J-PEAKS)」の取組に関する報告

日本全体の研究力を牽引する地域中核拠点として、2023 年 12 月、広島大学は「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(通称 J-PEAKS)」に採択されました。

半導体・超物質、再生・細胞医療・創薬の融合研究領域を中心に、世界的に稀少な紫外線(UV)領域の放射光による可視化を基盤として、研究力向上戦略を推進しています。最近の本学の取り組みを以下のとおりお知らせします。

なお、今後も定期的に情報発信していく予定です。

(1) キックオフシンポジウムを開催

7 月 5 日(金) J-PEAKS に採択された 12 大学が一堂に会し、キックオフシンポジウムが開催されました(於:丸ビルホール・東京都千代田区)。当日は、盛山正仁文部科学大臣が挨拶し、日本全体の研究力強化に向けた本事業に対する強い期待が寄せられました。その後、本学を含む、各採択大学から事業概要に関する説明がなされました。

(2) 第 15 回日本 RNA i 研究会(共催:広島大学・PSI GMP 教育研究センター、創薬バイオマーカー拠点、広島がんセミナー)を開催

大学をはじめ、試薬機器企業、製薬企業の研究者が結集・連携し、技術交流による発展を目的に 2008 年に設立された日本 RNA i 研究会の第 15 回研究会が 8 月 22 日(木)・23 日(金)の両日、グランドプリンスホテル広島で開催されました。

今年は J-PEAKS の重点拠点の一つである PSI GMP 教育研究センターが共催し、「日本でのアカデミア創薬の実用化を目指して!」をテーマに活発な議論が展開されました。また、放射光科学研究所の島田賢也所長も登壇しました。異分野による連携・融合研究の加速が期待されます。

(3) 今後の予定

次回からは今後の取り組みなどをご紹介していく予定です。

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)とは?

地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学が、その強みや特色のある研究力を核とした戦略的経営のもと、他大学との連携等を図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速等により研究力を強化することで、我が国全体の研究力の発展を牽引する研究大学群の形成を推進することを目的としている。Program for Forming Japan's Peak Research Universities の通称。広島大学は 2023 年度に採択され、2028 年度までの 6 年間で総額 55 億円の財政支援が予定されている。

【お問い合わせ先】

学術・社会連携室

未来共創科学研究本部

研究戦略部 研究戦略グループ 前田

TEL:082-424-5656

Mail: gakujutu-strategy-gl@office.hiroshima-u.ac.jp



第 170 回 学長定例記者会見 お知らせ事項 2

令和 6 年 8 月 27 日

**【広島大学創立 75+75 周年記念事業】広島大学公開シンポジウム
地域の挑戦「新しい価値創造と社会課題解決」の開催について**

この度、広島大学 75+75 周年記念事業として、本シンポジウムを開催することになりました。昨今の地域企業や地方銀行を取り巻く目まぐるしい環境の変化に打ち勝つため、新しい価値創造と社会課題解決の糸口を探ります。

入場料は無料です。一般の方、大学生、地域の方等、多くの方のご来場を心よりお待ちしております。

【日時】 令和 6 年 9 月 20 日（金）14 時 00 分～17 時 00 分
【場所】 東千田キャンパス地域連携フロア「SENDA LAB」
（広島市中区東千田町 1-1-89）

【開会挨拶】 広島大学経済学部附属地域経済システム研究センター長
教授 鈴木 喜久

【基調講演】 『自ら育つ人を育てる』 14:05 - 14:55
講師：株式会社カルティバイト代表取締役社長 比嘉 梨香 氏

【パネルディスカッション①】 『地域企業と地方銀行の新しい価値創造』 15:10 - 15:50
パネリスト： 株式会社フジワラテクノアート 藤原 加奈 氏
株式会社ひろぎんホールディング 廣江 裕治 氏
モデレーター： 広島大学 客員教授 日下 智晴

【パネルディスカッション②】 『地域企業のソーシャルビジネスへの挑戦』 16:00 - 16:50
パネリスト： 株式会社カルティバイト 比嘉 梨香 氏
WACTORYホールディングス株式会社 新谷 浩之氏
株式会社エールエンジン 今井 恭子氏
モデレーター： 広島大学 客員教授 日下 智晴

【お申込みはこちらから】 <https://forms.office.com/r/Dz3uCQU4wS?origin=lprLink>

【定員】 定員 80 人 【申込期限】 9 月 20 日（金）※定員に達し次第締め切ります

【参加費】 無料

【対象者】 大学関係者、一般参加者

【主催】 広島大学経済学部附属地域経済システム研究センター

【共催】 地域経済研究推進協議会、地方シンクタンク協議会中国・四国ブロック、中国地域シンクタンク協議会

【お問い合わせ先】

経済学部附属地域経済システム研究センター 安田

E-mail : ecocres@hiroshima-u.ac.jp

Tel: 082-542-6991 (月～水、金 10:00-16:00)



広島大学創立75+75周年記念事業
広島大学公開シンポジウム



地域の挑戦 新しい価値創造と 社会課題解決

企業と銀行の価値創造とソーシャルビジネスの挑戦を考える

参加費
無料

要事前申込

先着
80名様

2024年9月20日(金) 14:00~17:00

(会場) 広島大学東千田キャンパス地域連携フロア「SENDA LAB」 広島市中区東千田町1-1-89

開会・閉会挨拶

広島大学 経済学部附属地域経済システム研究センター長 教授

鈴木 喜久

基調講演

「自ら育つ人を育てる」

14:05-14:55

株式会社カルティベイト代表取締役社長

比嘉 梨香氏

パネルディスカッション①

「地域企業と地方銀行の新しい価値創造」

15:10-15:50

パネリスト： 株式会社フジワラテクノアート
株式会社ひろぎんホールディングス
モデレーター： 広島大学 客員教授

藤原 加奈氏
廣江 裕治氏
日下 智晴

パネルディスカッション②

「地域企業のソーシャルビジネスへの挑戦」

16:00-16:50

パネリスト： 株式会社カルティベイト
WACTORYホールディングス株式会社
株式会社エールエンジン
モデレーター： 広島大学 客員教授

比嘉 梨香氏
新谷 浩之氏
今井 恭子氏
日下 智晴

(主催) 広島大学経済学部附属地域経済システム研究センター

(共催) 地域経済研究推進協議会、地方シンクタンク協議会中国・四国ブロック、中国地域シンクタンク協議会

【申込方法】参加希望の方は、右記二次元コードをお読み頂くか、下記URLより応募フォームにアクセスし、
応募してください。 <https://forms.office.com/r/Dz3uCQU4wS?origin=lprLink>

広島大学経済学部附属地域経済システム研究センター
Mail: ecocres@hiroshima-u.ac.jp



広島大学シンポジウム 登壇者プロフィール

開(比嘉)梨香 : (株)カルティバイト代表取締役、沖縄国際大学後援会会長



1983年琉球大学法文学部卒、大学1年よりマスコミ等で活動。

85年(株)アレックス専務取締役、89年オン・エア(株)代表取締役。
92年(株)沖縄ノムラ代表取締役。

2000年(有)開設立、組織変更で(株)カルティバイト代表取締役。

03-18年日本エコツーリズム協会理事。09-10年沖縄県教育委員
長。11-20年内閣府沖縄振興審議会委員。15-21年沖縄海
邦銀行社外取締役。22-23年沖縄県公安委員長。

藤原 加奈 : 株式会社フジワラテクノアート 代表取締役副社長



2001年慶應義塾大学経済学部卒業。

2005年フジワラテクノアート入社。

2007年同大大学院経営管理研究科修了。

フジワラテクノアートは醸造食品、一般食品を生産する機械・プラ
ントを手掛けるメーカー。2015年から副社長として未来志向の組織
づくりを主導している。日本DX大賞（2022年中小規模法人部
門）、DXセレクトショングランプリ（2023年）、日本でいちばん大切
にしたい会社大賞審査委員会特別賞（2023年）を受賞。

廣江 裕治 : 株式会社ひろぎんホールディングス 取締役専務執行役員 株式会社広島銀行 取締役専務執行役員



1989年明治大学法学部卒 広島銀行入行。

1994年5月米国ジョージタウン大学ロースクール卒業（LL.M.）

2011年4月より吉島支店長、融資企画室長、福山胡町支店長、
人事総務部長、執行役員呉支店長を歴任。

22年4月常務執行役員、22年6月取締役常務執行役員

24年4月取締役専務執行役員（現職）兼ひろぎんホールディ
ングス専務執行役員。

24年6月から現職。

広島大学シンポジウム 登壇者プロフィール

新谷浩之 : WACTRYホールディングス 親和金属株式会社 代表取締役



2006年 佛教大学社会学部卒、デルタ工業入社。

2008年 新和金属株式会社入社。

2012年 新和金属株式会社代表取締役社長に就任。

2019年 「FACTORYからWACTORYへ」をスローガンに様々な取り組みをスタート。

2022年 就労移行支援事業所すみっこテラスを開設。

今井恭子 : 株式会社エールエンジン 代表取締役



2005年東北大学理学部卒業。

新卒でコンサルティング会社に入社し、内部統制、内部監査業務に従事。14年にNPO法人コミュニティビジネスサポートセンターで創業支援、16年からは株式会社サムライインキュベートにてベンチャーキャピタル直轄のコワーキングスペースで起業家支援を行う。

18年より株式会社ボーダレス・ジャパンでソーシャルビジネスの経営支援に従事し、21年より株式会社エール・ティー・エスで広島県の事業に関わる。

24年2月より現職。

日下 智晴 : 広島大学大学院客員教授、日下企業経営相談所代表



1984年神戸大学経営学部卒、広島銀行入行。

97年総合企画部課長代理、2006年企画室長、07年担当部長。10年より融資企画部長、大阪支店長、リスク統括部長を歴任し、15年10月広島銀行を退職。

15年11月金融庁に転職し、初代地域金融企画室長。

18年7月より地域金融生産性向上支援室長、19年7月より地域課題解決支援室長兼務。21年9月金融庁を定年退職。

21年10月より現職。

令和 6 年 8 月 27 日

**【広島大学創立 75+75 周年記念事業】
「三分一博志講演会 & 三分一博志と巡るおりづるタワー」
の開催について**

広島大学 75+75 周年を記念し、広島を拠点に活動し世界的にも高い評価を受けている建築家である三分一 博志（さんぷいち ひろし）氏が、自身の広島・瀬戸内地域の建築作品を通して、建築の魅力や地方でものづくりに取り組むことの意義を広く伝えるための講演会と建築作品見学会を下記のとおり開催します。

開催概要

- ◆三分一博志 講演会 「建築は未来への手紙」
 - 日 時：2024 年 8 月 31 日(土) 14:30-16:30
 - 開 場：14:00(建築展「水」インタビュー動画上映)
 - 会 場：広島国際会議場国際会議ホールヒマワリ
 - 申 込：事前予約制・参加無料(定員 500 人)
 - 対 象：どなたでもご参加いただけます

- ◆三分一博志と巡るおりづるタワー
 - 日 時：2024 年 8 月 31 日(土) 17:00-18:00
 - 会 場：おりづるタワー
 - 申 込：事前予約制・参加無料
 - 対 象：高校生・大学生(定員 60 人)

※講師プロフィール

三分一博志（さんぷいち ひろし）

■略歴

1968 年生まれ / 1992 年東京理科大学卒業 / 2011 年～デンマーク王立芸術アカデミー教授(非常勤) / 2017 年日本・デンマーク外交関係樹立 150 周年親善大使 / 2024 年～広島大学大学院客員教授

申込み方法

事前予約が必要です。右の QR コードからお申込みください。
※定員に達し次第締め切ります。



主催

広島大学工学部(事業委員会：建築学プログラム)

共催

(一社)日本建築学会中国支部、(公社)日本建築家協会中国支部広島地域会

協賛

(一社)日本建設業連合会中国支部、広大建友会

後援

デンマーク王国大使館、外務省、広島県教育委員会、広島市教育委員会、(公財)福武財団、(一社)広島県建設士事務所協会、(公社)広島県建設士会

【お問い合わせ先】

大学院先進理工系科学研究科 准教授 中園（なかその）

E-mail: tnkzn@hiroshima-u.ac.jp

Tel: 082-424-7834



建築は未来への手紙



2024
150th
ANNIVERSARY

広島大学創立 75+75 周年記念事業 講演会・おりづるタワー見学会

建築家 三分一博志

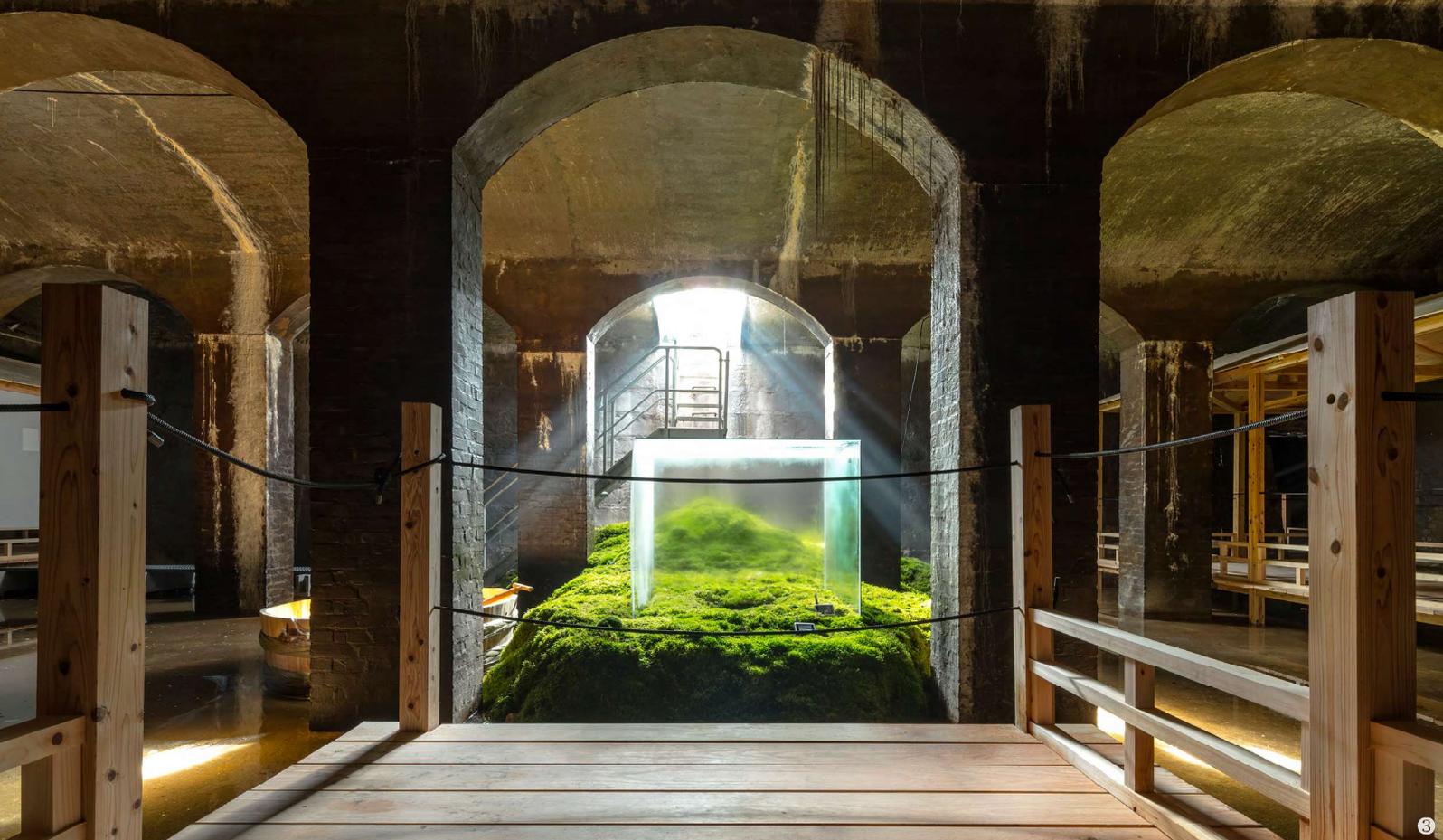
広島大学大学院客員教授



2024.8.31 | 土 | 14:30 (開場・建築展「水」インタビュー動画上映 14:00 -)

広島国際会議場国際会議ホールヒマワリ

主催：広島大学工学部(事業委員会：建築学プログラム) 共催：(一社)日本建築学会中国支部、(公社)日本建築家協会中国支部広島地域会
協賛：(一社)日本建設業連合会中国支部、広大建友会
後援：デンマーク王国大使館、外務省、広島県教育委員会、広島市教育委員会、(公財)福武財団、(一社)広島県建築士事務所協会、
(公社)広島県建築士会



3

三分一博志 | Hiroshi Sambuichi



Photo Takehiro Goto

■略歴 1968年生まれ / 1992年東京理科大学卒業 / 2011年～デンマーク王立芸術アカデミー教授(非常勤) / 2017年日本・デンマーク外交関係樹立150周年親善大使 / 2024年～広島大学大学院客員教授

“人にも地球にも認めてもらえる建築を目指して”

三分一博志は、広島 naturally に学び育ち修道高校を卒業後、東京理科大学理工学部建築学科で建築学を修める。現在も広島を拠点に「建築は地球の一部である」という理念のもと、瀬戸内地域を中心とした唯一無二の建築を生み出している。その「人にも地球にも認めてもらえる建築」を目指す姿勢は、The Daylight Award(デンマーク・スイス)を受賞するなど現代のグリーンアーキテクトの第一人者として海外でも高く評価されている。

瀬戸内国際芸術祭作品「犬島精錬所美術館」は、自然のエネルギーを利用した建築として日本建築学会賞・日本建築大賞を史上初のダブル受賞。「直島ホール」は、日本建築学会賞、村野藤吾賞、BCS賞を受賞。「宮島弥山展望台」からの眺望は、ミシュラン・グリーンガイドの三つ星を得るなど、建築を通じて瀬戸内地域の自然、伝統文化の発信と地球環境の再生を試みている。

世界各地の講演会に招かれ、2017年には日本・デンマーク外交関係樹立150周年親善大使としてシステアナ美術館(CISTERNERNE)で三分一博志建築展「水」を行うなど、国際親善交流などにも取り組んでいる。

■主な受賞歴 The Daylight Award(デンマーク・スイス)、日本建築学会賞、日本建築大賞、BCS賞、村野藤吾賞、吉岡賞他多数

■主な講演会 ニューサウスウェールズ大学(2012 シドニー)、The Japan Society(2015 ニューヨーク)、Le Carreau du Temple(2018 パリ)、Japan House(2019 サンパウロ)、東京大学(2022 東京)、デンマーク王立芸術アカデミー(2023 コペンハーゲン) 他多数

■その他主な作品 「おりづるタワー」「Wood Egg お好み焼館」「自然体感展望台・六甲枝垂れ」「三輪窯」「エアー・ハウス」「ストーン・ハウス」「北向傾斜住宅」

広島大学建築グループ / Hiroshima University Architecture Group

■三分一博志 講演会 (CPD2単位)

「建築は未来への手紙」

開 場：14:00 (建築展「水」インタビュー動画上映)

講演会：14:30 - 16:30

会 場：広島国際会議場国際会議ホールヒマワリ

申 込：事前予約制・参加無料(定員500名)

■三分一博志と巡るおりづるタワー

日 時：2024年8月31日(土) 17:00 - 18:00

会 場：おりづるタワー

申 込：事前予約制・参加無料

対 象：高校生・大学生(定員:60名)

■申込み方法

事前予約が必要です。右記QRコードの申し込みフォームによりお申込み下さい。

※定員になり次第締切



① 瀬戸内湖洞立公園 宮島弥山展望休憩所 (広島県 2013年) © 新建築社写真部

② おりづるタワー (広島県 2016年) © 新建築社写真部

③ Cisterne Pavilion 「the Water」(デンマーク 2017年) © Jens Markus Lindhe

